２０２２年度進捗報告（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年 9 月 28 日
● 事　業　名　：　人形たちとつくるコミュニティスポット
● 資金分配団体　：　公益財団法人長野県みらい基金
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人いいだ人形劇センター

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1-1. 子ども・若者とその家族が容易に訪れることができる居場所が生まれる。	子ども・若者とその家族の居場所設置数（実数把握）	1 か所／飯田市	2020 年 10 月	毎週火曜、第１・３木曜、第２・４土曜に開設 コロナの影響はあるが、可能な限り開所している。	2
2-1.　短期人形劇ワークショップを通して、子ども・若者がどうやって作ることができるかを体験する場となる。	①ワークショップ開催回数（実数把握） ②ワークショップ参加人数（実数把握）	①6 回／年 ②5 人／回	2023 年 3 月	①は 2 年 6 カ月で 14 回実施 ②約 7 人／回 （14 回計 96 人） ワークショップ回数と参加者数は目標値に達している。一定の参加者を得られている。	2

2-2.　定期的に専門家を配置し、子ども・若者が失敗を繰り返しても、いつでもやり直せる環境となる。	①開所日数（実数把握） ②専門家の配置日数（実数把握）	①80 日／年 ②30 日／年	2023 年 3 月	①178 日／2 年 6 カ月 ②178 日／2 年 6 カ月	3
3-1.　高齢者や地域住民が人形劇活動の場に参加し、居場所を支える存在となる。	①高齢者等の参加日数（実数把握） ②高齢者等の参加者数（実数把握）	①80 日／年 ②延べ 200 人／年	2023 年 3 月	①145 日／2 年 6 カ月 ②延べ 268 人／2 年 6 カ月 現状、高齢者の積極的な参加を促しにくい状況である。	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし　☑短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
・イベント用のプログラムが充実してきた。2 回のミニライブでは音楽演奏で緊張をほぐし、人形劇公演を安心して楽しめる環境ができた。観劇後は人形あそび体験をすることで参加の要素が増し、体験を通して、より多くの子どもたちの変化が見られるようになった。 ・ワークショップでも、自由度の高い内容にすることで、はじめは母親の言うままにつくっていた子が、ある瞬間から自ら積極的に作り始めた。人形は作って完成ではなく、動かすことでさらにイメージを広げられるため、いろいろと試していく中で思わぬ造形や動きに楽しむ姿も見られた。

・2021 年 3 月から通い始めた現在小 4 年生は動画をたくさんつくり、毎週 Youtube に公開している。他のユーチューバーとのコラボ作品にも参加している。これまで送り迎えを保護者にしてもらっていたが、最近は行きだけ送ってもらい、帰りは一人で JR に乗って帰れるようになった。動画制作のワークショップの際もスタッフとして入ってもらい、参加者に教えるぐらいのレベルになっている。
・武蔵野大のインターンシップを 1 人受け入れた。Instagram を使って、高校生への広報に取り組んでいる。
・今年度はイベント時のアンケートを毎回とり、人形劇を通して子どもたちの心にどのような変化があったか、保護者の目から見た変化も記録している。例えば、「親子で参加できるものに最近限りがあり、参加できて大変楽しかった」「はじめはドキドキしていたけど、終わりはとても伸び伸びして楽しそうだった」など、年間通じてまとめることで、人形劇の役割がよりはっきりしてくると考える。
・当初、計画していなかったアウトリーチを昨年度から始めた。開所がコロナ禍により、子どもたちが来ることが難しかった。そのため、「移動居場所」としてアウトリーチをすることにした。そのアウトリーチでの人形づくりでは、自由な発想でモンスターに色を付ける。しつけの厳しい家庭環境にいた兄弟は手や着ている物が汚れるのもかまわずに伸び伸びと楽しそうに色を塗っていた。
・地元の飯田女子短大の准教授に発達心理学をテーマにしたスタッフの勉強会を開催した。その後ディスカッションをして、子どもたちとどのように接するのがいいかなど理解を深めた。

③　広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☐自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・7 月 9 日(土)　飯田ケーブルテレビ取材 2.広報制作物等 ・4 月発行　季刊情報誌 DogushiVo.37　特集　豊かなココロを育む 2022 年度年間イベントカレンダー　1 頁掲載 6800 部印刷

・7 月発行　季刊情報誌 DogushiVo.38　特集　はじめの一歩はかろやかに！人形たちとつくるコミュニティスポットほっこり　2 頁掲載
6800 部印刷
・ほっこりミニライブチラシ・年間予定（両面）　4 月制作、5 月発行　配布　9000 部印刷
・ほっこりワークショップ 2 種類（両面）　5 月制作　6 月発行　配布　9000 部印刷
・ほっこりミニライブチラシ・ワークショップ（両面）　8 月制作　8 月発行　配布　9000 部印刷
・Instagram 本格運用（武蔵野大生インターンシップの成果）9 月

3.報告書等

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

添付資料

左上　ほっこりミニライブ 5/29
人形劇観劇後、参加者の親子全員で人形操作体験

右上　アウトリーチ人形劇公演（伊那市）7/4
観劇中の子どもたち。始まる前は緊張していたが、徐々にリラックスして見ていた

左下　ほっこりワークショップ 7/9
用意した布に好きな色を塗り、オリジナルのモンスターをつくる

右下　ほっこりミニライブ 9/23
人形劇観劇後、日用品に目玉をつけてどんな生き物になって歩くかを体験